

地方創生推進交付金事業におけるKPI（平成29年度実績）

1. 多世代交流推進及びテレワークによる母親労働拠点創出事業 (3か年事業 平成29年度⇒平成31年度)

目標指標	総合戦略で該当する施策名	基準値 (平成28年度)	目標値 (平成31年度)	実績値 (平成29年度)	目標達成率	備考
柏原市の人口における社会減数 (転出者数－転入者数)の縮小	基本目標3 数値目標	424人	147人	372人	18.8%	【転出者数－転入者数】 H28実績：2,599-2,175=424人 H29実績：2,490-2,118=372人
テレワークでの新規就業登録者 数(人)	基本目標2 施策3)② 地域就労の推進	0人	40人	28人	70.0%	実際の就業者数は12人。就業者数の目標値は20人であるため、就業者数ベースでは60%の達成率である。
多世代交流施設の60歳以上高 齢者利用者数(人)	基本目標4 施策5)② 高齢者の生きがい推進	0人	30,000人	0人	0.0%	平成30年度以降の取組に対する指標であるため、平成29年度は実績なし。
女性の就業率(%)	基本目標2	(H22国勢調査) 41.1%	42.1%	(H27国勢調査) 42.2%	100.2%	平成22年の国勢調査における女性の就業率41.1% (13,973人/33,959人)が、目標達成時には 42.1%になることを目指すものであるが、平成27 年の国勢調査結果では42.2%(13,835人 /32,753人)となっている。

2. 万葉ロマンの地を巡るルート整備事業 (5か年事業 平成28年度⇒平成32年度)

目標指標	総合戦略で該当する施策名	基準値 (平成27年/年 度)	目標値 (平成32年/年 度)	実績値 (平成29年/年 度)	目標達成率	備考
JR駅(河内堅上、高井田)・ 近鉄(河内国分)の利用者数 (定期外)	基本目標2 施策1)⑤ 観光振興	18,697人	21,350人	調査中	-	(参考)平成28年 17,065人 ※7月以降に利用者数が確定予定
整備エリア内ウォーキング人数	基本目標2 施策1)⑤ 観光振興	45,000人	85,000人	52,335人	61.6%	(参考)平成28年度 2,930人 ※平成29年度から算出方法を変更 ⇒観光入込客数の増加率を当初人数に乗じて算出
整備エリアの観光ウォーキング ツアーでの宿泊者数	基本目標3 施策1)② まちの魅力発信	24,000人	60,000人	33,368人	55.6%	(参考)平成28年度 36,198人

## 地方創生推進交付金の進捗状況等について

【本市の地方創生推進交付金事業】

### ○万葉ロマンの地を巡る観光ルート整備事業（2市2町広域事業）

柏原市、奈良県香芝市、三郷町、王寺町が連携し、万葉集をテーマとしたハイキングルートを設定し、観光力、商工力、健康力の向上を目指し、来訪者の増加や、郷土愛を育み、住んでいる事に誇りをもてる地域づくりを進める。

平成 28 年度：2,000 千円（国庫補助 1/2）

現地調査実施計画作成に係る経費

平成 29 年度：2,000 千円（国庫補助 1/2）

エリア内の道の整備と付帯設備の整備に係る経費

平成 30～32 年度：1,500 千円（国庫補助 1/2）

勉強会及びイベント開催等に係る経費

### ○多世代交流推進及びテレワークによる母親労働拠点創出事業

子育て中の母親が子育てしながら働くことができる環境を構築。民間企業と連携して、託児スペースとワーキングスペースを併設したサテライトオフィスを市立勤労者センターに開設し、テレワークによる仕事を受注する。これにより、子育てと仕事を両立できる新たな働き方が実現。

また、本事業の実施とともに多世代交流を推進するため、子どもから高齢者まで就労をはじめとしたさまざまな取組において交流を図れる場を提供することで、地域づくりを図る。

平成 29 年度（予算：35,210 千円、国庫補助 1/2）

○母親労働拠点創出事業により、「ママスクエア柏原店」を開設し、実証事業を実施。

⇒（実証内容：柏原に住む子育て中の母親の子育てと仕事の両立に対する需要など）

○多世代交流を行うための整備、広告等に係る経費

平成 30 年度（予算：3,080 千円、国庫補助 1/2）

○就労を軸とした多世代交流セミナー及び講演会開催に係る経費

平成 31 年度（予算：3,050 千円、国庫補助 1/2）

○平成 30 年度と同様



子どものそばで働ける

## 柏原市母親労働拠点点創出事業 成果報告書(概要版)



子どもの笑顔のために

平成30年3月30日  
株式会社ママスクエア

## 目次

- 概要 .....P3
- 拠点の構築について .....P4
- (参考)拠点の見取り図 .....P5
- 母親の募集と採用について .....P6
- 実証実績について .....P7
- 事業化モデルの検証 .....P8
- 検証結果① .....P9
- 検証結果② .....P10
- 検証結果③ .....P11

# 概要

## 【背景・目的】

本報告書は、「柏原市人口ビジョン」及び「柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するために平成27年に実施した「柏原市地方創生に向けた戦略策定アンケート」の回答に基づき、出産後の母親が子育てしながら働くことができる環境を市内に整備した「柏原市母親労働拠点創出事業」の報告書である。具体的には、柏原市内に母親の労働拠点（「ママスクエア柏原店」、以下同じ。）を開設するとともに、実際に市内在住の母親を主に雇用し、検討したモデルの運用を通じて母親の就労モデルの内容や有効性、要件、課題等について取りまとめたものである。

## 【全体概要】

本事業においては子育てを行う財政的な基盤を整えることが市の人口減少に歯止めをかけ、出生率向上を目的としたオフィスを市内の公共施設の空きスペースや空き事務所等で開設し、テレワークやデスクワーク等の仕事を受注することで、市内在住の母親が子どもを預けながら短時間でも働くことができる環境を構築し、子育て期間終了後も母親が継続して収入を確保できる仕組みの構築を図る。また、本事業の実施とともに多世代交流を通じた地域活性化づくりの実証・検証を実施した。

## 【実証スケジュール】

時期	実施内容
平成29年9月～12月	拠点の調査開始
平成30年2月1日	拠点の施工開始
平成30年1月24日	応募者面接会開始日
平成30年2月26日	拠点構築完了
平成30年3月2日	拠点開所
平成30年3月	実証期間

# 拠点の構築について

## 【拠点の住所・条件】

施設の所在地： 柏原市大正2丁目10番1号  
施設の名称： 柏原市勤労者センター

## 【主な設備・システム】

- ・デスクトップPC 31台 ノートPC 3台 合計34台
- ・テレワークシステム導入
- ・ネットワークシステム
- ・キッズスペース設備(床&腰壁クッションなど)
- ・コミュニティスペース(テーブル、椅子、ロッカーなど)

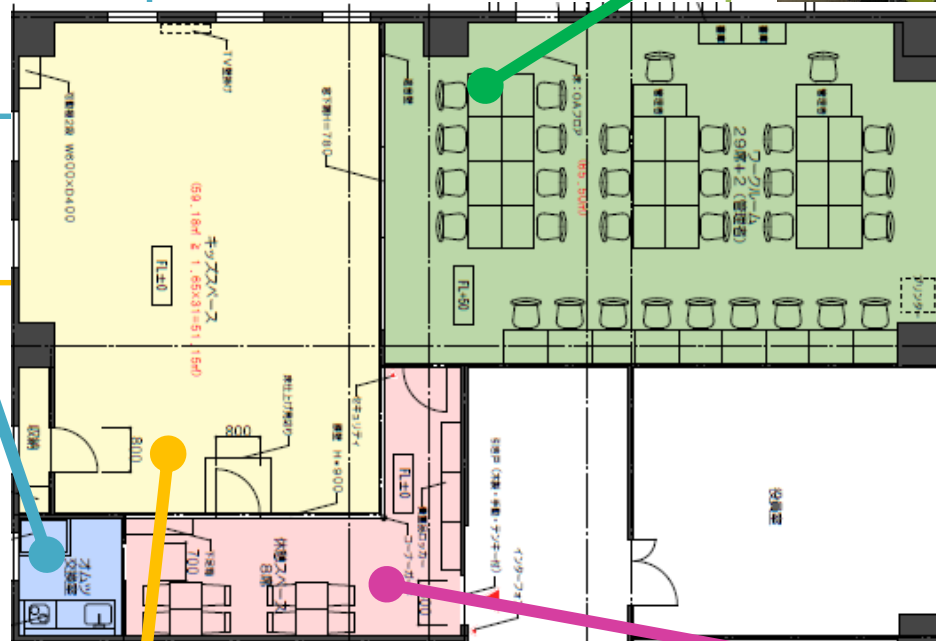
## 【拠点の内観・外観】



## おむつ交換室



## (参考) 拠点の見取り図



## ワークスペース



## キッズスペース



## コミュニティスペース

# 母親の募集と採用について

## 【募集した職種・勤務条件】

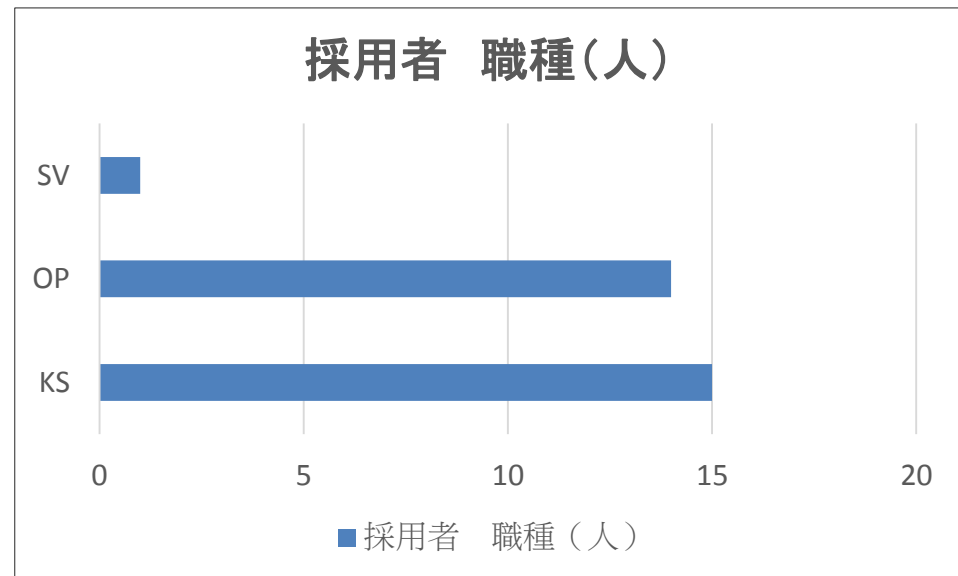
- ・会社が受注した業務に従事するオペレーター職
- ・キッズスペースにて子どもの見守りを行うキッズスタッフ職

### ＜勤務条件＞

現在の母親の就労形態としては午前午後の2パターンの1ヶ月毎のシフト制をとっており、業務の案件量によって変わる変動制となっている。基本的な営業時間は9:30～18:00の営業とし、土日祝日は他店舗同様、家族で過ごすことを希望する母親が多かったことから平日のみの営業とした。なお、業務量が安定され、母親の要望が強いのであれば、土日や祝日の営業も検討する。

## 【応募者の職種・採用者数】

- ・スーパーバイザー職：1名
  - ・オペレーター職：14名
  - ・キッズスタッフ職：15名
- 合計29名

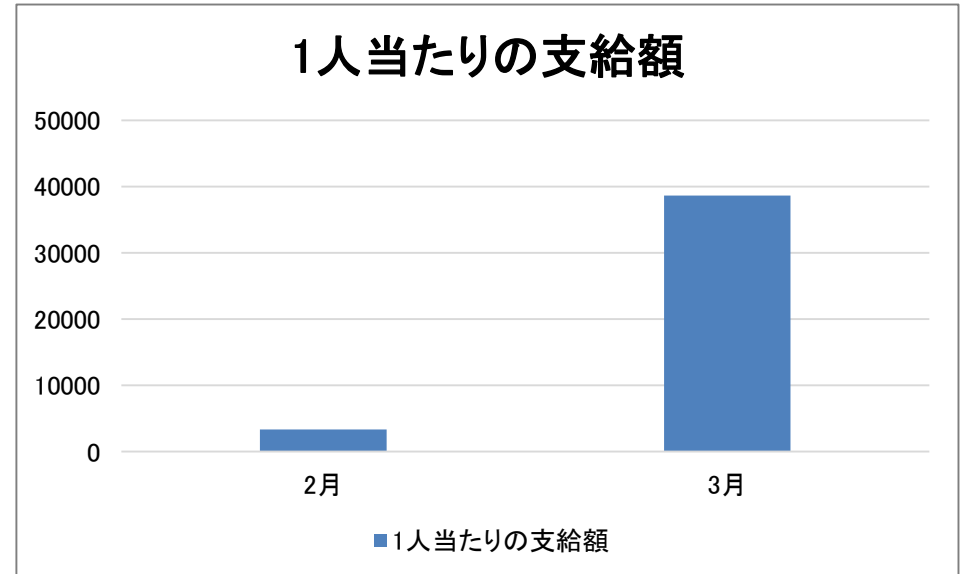
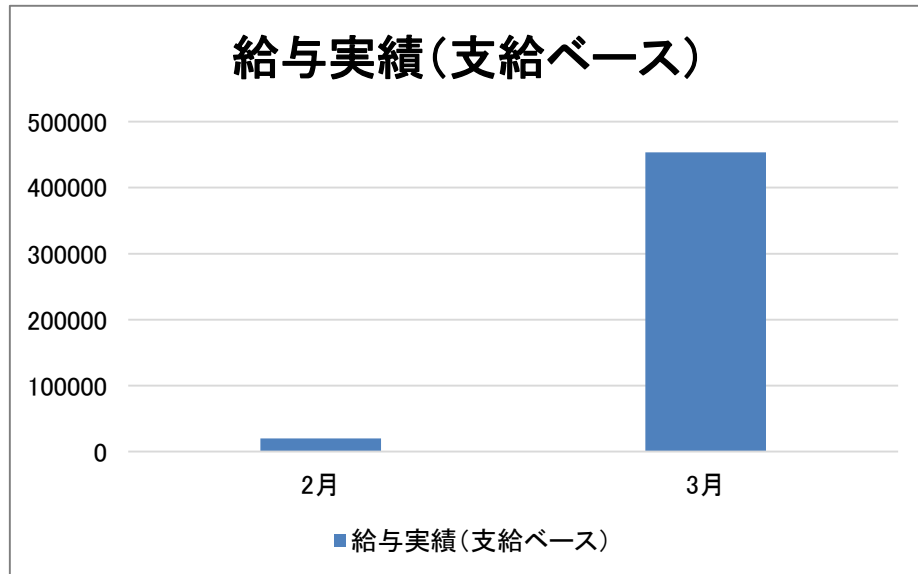




# 実証実績について

**【勤務実績】** 母親の勤務実績(出勤日数、労働時間)について実証期間にて算出したところ、一人当たりの勤務日数及び労働時間はおよそ10.8/月、41時間、3.8時間/日であった。  
※2月は出勤に数が少なく、算出対象外になるため、記載いたしません。

**【給与実績】** 母親の勤務実績(出勤日数、労働時間)の労働の対価として給与を支給した。  
実証期間の合計は店舗全体で1,129,945円、1人当たりおよそ70,622円(交通費含む)の給与を支払った。



算出根拠(実績)

対象月	出勤人数	出勤日数/月	労働時間/月	労働時間/日
2月	6	1	22.02	3.67
3月	12	10.83	40.95	3.78
平均	9	5.91	31.49	3.73

# 事業化モデルの検証

## 【多世代交流の推進(ランディングページ)】

多世代交流を推進するにあたり、産官学連携にて、柏原市のふるさと納税に採用されている町の特産品やサービス等を伝えるWEB(ランディング)ページを母親が作成することにより、地元のママが自治体及びまちの住民(商品やサービスの提供者)と協力し作り上げていく。これにより、多世代の交流が生まれ、市を活性化していく取り組みへとつなげる。

## 【効果】

取り組みを行うことにより、産官学及びさまざまな年代の世代交流の場としての拠点となりえたこと、ワークスタッフのスキル形成に寄与したこと、ふるさと納税HPの新しい魅力を創出したことである。

## <参考画像>



参考サイト01



参考サイト02



参考サイト03

※ランディングページとは、1ページから3ページほどで構成される特設ページとなります。主に新商品や新しいサービス、その他アピールしたい情報等の専用ページです。

# 事業化モデルの検証成果



市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長

## 柏原市について

柏原市は、産物や観光資源、伝統的産業などの宝庫に恵まれています。中でも、産物や観光資源、伝統的産業などの宝庫に恵まれています。中でも、産物や観光資源、伝統的産業などの宝庫に恵まれています。



## 子どもと納税特設サイト



子どもと納税特設サイトは、子どもと納税を楽しくするための特設サイトです。子どもと納税を楽しくするための特設サイトです。子どもと納税を楽しくするための特設サイトです。



## 子どもと納税とは

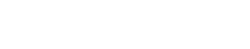
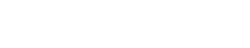
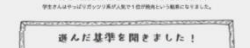
子どもと納税とは、子どもと納税を楽しくするための特設サイトです。子どもと納税を楽しくするための特設サイトです。子どもと納税を楽しくするための特設サイトです。



市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長

## ママが気になるおススメ 柏原市産品ワンキング

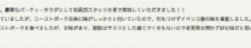
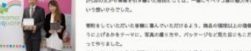
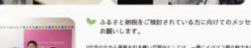
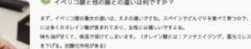
ママが気になるおススメの産品を、ワンキングという形で提供しています。ママが気になるおススメの産品を、ワンキングという形で提供しています。



市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長

## ママが気になるおススメ 柏原市産品ワンキング

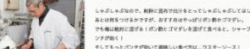
ママが気になるおススメの産品を、ワンキングという形で提供しています。ママが気になるおススメの産品を、ワンキングという形で提供しています。



市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長

## ママが気になるおススメ 柏原市産品ワンキング

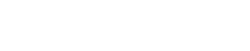
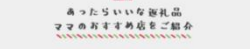
ママが気になるおススメの産品を、ワンキングという形で提供しています。ママが気になるおススメの産品を、ワンキングという形で提供しています。



市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長

## ママが気になるおススメ 柏原市産品ワンキング

ママが気になるおススメの産品を、ワンキングという形で提供しています。ママが気になるおススメの産品を、ワンキングという形で提供しています。



## 検証結果①

### ＜拠点に求められる環境的要件＞

母親が子どもを連れて徒歩やベビーカーで出勤することを考えると、駅の近くは前提として、通勤経路にスロープやエレベーター等が設置されていて段差が少なく徒歩でもアクセスしやすい場所に拠点を定めることが望ましい。

### ＜拠点に求められる機器・設備的要件＞

キッズスペースに関しては特に子供の泣き声やはしゃぐ声もあるため、必要に応じて防音素材の壁が必要となる。また、子どもの体温が高く、遊んだり走り回ることによって室温が高くなりやすいことに加え、寝ている子どももいるため、空調機器(エアコン等)を備えておく必要がある。ワーキングスペースに関しても、人が密集する環境でパソコン等の熱を発生する情報通信機器が多く設置されているため、暑くならないよう温度調整等ができる空調機器(エアコン等)が必要となる。拠点においてはパソコン等の情報通信機器が集中しているが、バックアップ等も考えると余裕を持った電力共有の設備を行う必要がある。本事業においても有線によりネットワークを構築した。通信の障害なく業務を実施することを考えた場合、無線ではリスクが発生するため有線が望ましい。

### ＜母親の労働拠点としてどういった業務が適しているか＞

会社の方針、働く母親が多いことから、一般的に複数人でシェアできる業務、過去の経験を活かせる業務、時間的制約を受けにくい業務が適していると考えているが、今回は検証期間の兼ね合いで、実務の着手はできていないが、検証事業のような取り組みは適していると感じている。理由としては、検証は短期間であるが限られた時間内で遂行する能力、学生が取材行った取材をライティングするためのヒアリング能力を発揮していた。また、母親や女性目線での商品選定は新たな角度から商品価値を見出すことができ、リアルな市民の声を反映できている面でこういった市との連携した業務はメリットが大きいと感じる。時間的制約の多い母親だが、未経験となる新たな事業でも積極的に取り組む強い姿勢と、多世代との交流を通じて目標に向かい自ら考える力も今回の検証事業で感じる事ができた。この積極的な姿勢は業務全般に必要なことと共有しており、今後、テレワークを含む様々な業務での活躍が期待される。

## 検証結果②

### ＜母親が子育てしながら働くにあたってどういうニーズがあるか＞

オープンから約1カ月経過後、母親に対するアンケートを行った。11名の回答を得られた。応募のきっかけでは、柏原店では子どもがいても「働きたかった」「仕事がしたい」「働きたい」という意見がでていた。また、社会に出ることへの嬉しさを感じていたり、周りに母親が多いということで理解もあり、子供優先に考えることができることにメリットを感じている方が多く見受けられた。勤務時間に関しては、お迎えの中抜けができることや、家事育児に支障をきたさない短時間なので無理なく働くことができると、「短時間」でも働けることにメリットを感じ、不満を抱いているという意見はなかった。柏原店では待機をして下さっている方もいるため、会社の業態のような子どもと一緒に仕事ができる業態の需要は、今後も増えていくであろう。

### ＜初期投資の目安＞

本事業においては市の施設を活用し、店舗の大幅な改装等を行ったが、システムや備品・設備を設置・構築する場合、2000～2500万円程度は必要と考えられる。また、地方においては特に、母親のスキル、ブランク等を考慮すると仕事への取り組み方や知識を教育研修する時間と実務研修が必要となることも想定されるため、そういった研修を行う場合には更に経費を要する。また、テレマーケティング業務以外での働く女性が活躍できるフィールドを広げることも大切と考え、多世代交流を取り入れた取り組みや、新たなスキルを身に付けるための研修を行っていきたい。

### ＜運営にかかるランニングコスト＞

柏原店の運営におけるランニングコストについては、家賃(約13万円/月、共益費約5千円)、水道光熱費、人件費(母親への給与)、消耗品、システム維持費等を含めると一か月約200万円となっており、店舗単位での損益分岐の目安となるが、市の施設を利用しており、他店と比較すると家賃コストは低くなっている。

### ＜事業の継続性の確保に向けた課題＞

本事業のような地方にいる母親向けに仕事を中央から用意するテレワークモデルに取り組むに当たっては、働く母親が必要であるし、母親に従事してもらい仕事も必要である。そのため、母親と仕事の両輪が上手く機能しなければ好循環が生まれにくい。仕事の好循環を生んでいくためには、地域特有の母親の環境やスキルに合わせた業務の割り振りが必要であると考えられる。

また、地方特有の結婚、出産を機に退職していることが多く、ブランク期間が長かったり、未経験からのスタートということもあり、業務はもちろんのこと、設置機器や環境になれることにも時間がかかるうえ、チームワーク形成まで1か月程かかり、テレワークという特殊な業務に慣れるまでの2か月程度は成果が上がりにくいことも課題である。会社の実績は積み重なっているが、成功体験の落とし込みまでのプロセスを構築している段階のため、人材育成を含めてまだ課題は残っている。

## 検証結果③

### <他地域への展開可能性>

事業を通じて各種の条件があれば他地域への展開の可能性が高いと考えている。現在、母親と子供が離れずに働くことができる新しいワークスタイルとして、母親の働く環境の提供やキャリアアップ支援等、主に女性の社会的地位の指数上昇や雇用促進に繋がる事業として展開を行っているが、地域の企業との連携を重視し、地域企業のBPO業務の掘り起しからそれを受託する仕組みが実現することにより他地域への展開の可能性を検討していきたいと考えている。

### <その他事業を通じて生じた課題>

同時店舗展開により、人材教育と安全品質向上の課題が生じているが、拠点展開を行う上での管理者層の採用・教育を安定的に行い、よりBPO業務の品質を上げ主婦活用の価値向上を目指していき、キッズスペースでの安全に関しては引き続き子供の安全を第一優先に置いて、保育の質向上に注力していく。

### <まとめ>

仕事をしながらでも自身や子供の成長を感じることができる貴重な事業として、実際に母親からの感謝の声も多く、特殊な仕事がメインではあるが、今後も企業、雇用者の両面で需要は増えると思込んでいる。人材スキルや意識レベル向上に対しての教育の基盤整備、短時間労働の限られた時間でもできる多店舗展開を行ううえで、既存業務の安定的な供給は必須であり、女性特有のマルチタスクができるという優秀な人材を活かすための新たな業務形態の創出が必要である。会社の業態自体の需要は多くなることが予想されるが、これから安定した運営を目指している段階であり、業務に関しては効率の良い研修の確立、生産性を上げて成果を出す方法や業務獲得及び継続につながるのかなどの戦略を立てて好循環のプロセスを確立させることができれば、多世代交流に関しても新たな取り組みの立案及び事業化もできる可能性も高まり、今後も店舗が拡大することによって、親子が一緒の場所にいることができることが当たり前の業態になると考えている。

# 2市2町広域観光ルート整備事業推進支援業務 -業務内容-

## 【目的】

### 一歴史ロマンあふれる景勝地を巡る一広域観光ルートの構築

大阪府柏原市、奈良県香芝市、三郷町、王寺町(2市2町)内の広域観光ルートを設定し明神山の山道、古来から伝わる亀の瀬溪谷の景勝地、万葉集に詠われた歌碑等、歴史ロマンを感じることができる様々な地域資源の魅力向上を図り、来訪者の増加に資する各種取組を連携して実施。

## 【取組内容】

### ●2市2町で統一の整備方針

コンセプト(ネーミング)、ロゴを作成し、2市2町をまたぐ一体的な観光ルートを形成。併せて、周辺の観光スポットや特産品、地域の歴史的背景等を総合的に提供する方策も検討。

### ●観光ルートの設定

地域の状況をふまえた観光ルートを構築。観光ルート上には、万葉歌碑の設置や休憩場所の整備、地元の観光振興に資するイベントや取り組みを検討。

### ●プロモーション方策の検討

設定した広域観光ルートを民間も含めて周知するプロモーション方策を検討。

都心に近くて、奈良・大阪の歴史ロマンを気軽に満喫！！



## 【平成28年度の成果】

### 現況整理：資源として活用できるテーマの抽出

広域観光ルートとして想定される道路の状況及び、周辺地域の資源、万葉集の歌碑等の状況等を調査し、テーマ案を抽出。

#### 万葉集



#### 景勝地・歴史



#### 百城二十八宿



#### 聖徳太子



#### 自然



### 整備方針(コンセプト)の設定

現況整理結果等をふまえ、整備コンセプト(テーマ、ネーミング)、情報発信となるロゴを検討。



大奈MIX (だいなミックス)  
ことのは旅

### 整備計画の策定

整備方針に基づき、広域観光ルートを設定。



# 2市2町広域観光ルート整備事業推進支援業務 -平成29年度成果-

## 【平成29年度成果】

### 「広域観光ルート事業実施計画」の作成、事業内容の詳細検討

整備優先ルートを検討し、5つのコースを設定。

- 信貴山・龍田古道コース
- 亀の瀬・雁多尾畑コース
- 雪丸ロード・明神山コース
- 明神山・関屋縦走コース
- 近畿自然歩道・どんづる峯コース

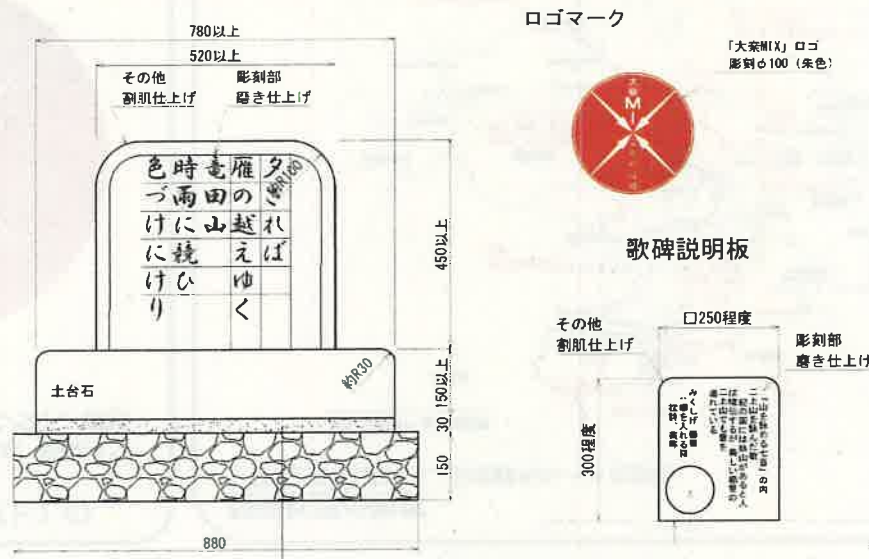
\*なお、山地（民地）のルートは、今後、地権者との調整を進める。

→別紙参照

万葉歌碑を香芝市、柏原市、三郷町で設置。

- 香芝市：旗尾池（H29）・尼寺廃寺（H31）
- 柏原市：スマイルランド（H29）・場所未定（H30・31）
- 三郷町：神奈備神社（H31）

→別紙参照



■歌碑設置イメージ

### KPIの計測手法の検討・実施

KPI（目標年度の「エリア内のウォーキング人数」）は、H27年度の基準値を基に、観光入込客の増加率を乗じて算出。

$$\text{目標年度の「エリア内のウォーキング人数」} = \frac{45,000[\text{人}]}{(\text{H27年度基準値})} \times \text{「観光入込客数の増加率」}$$

#### ■H27、H28の観光入込客数（参考）

	H27	H28	増加率
王寺町	31,488	27,395	-13.0%
三郷町	748,476	924,129	23.5%
香芝市	7,481	8,753	17.0%
柏原市	18,933	17,871	-5.6%
合計	787,445	978,148	24.2%

市町資料（府県に報告の観光入込客数）より

「エリア内のウォーキング人数」検討のために、整備優先ルート上のポイント（各市町1地点）において、カウント調査、ヒアリング調査を実施。

計測方法：各市町1地点でのカウント調査・ヒアリング調査  
 計測箇所：王寺町（明神山）・三郷町（開運橋）・香芝市（どんづる峯）・柏原市（河内堅上駅）  
 計測日：平成29年11月19日（日）10～15時

#### ■歩行者カウント調査結果（行き方向）

	ウォーキング（人）	それ以外（人）	合計（人）	ウォーキング割合
王寺町（明神山山頂）	16	96	112	14.3%
三郷町（開運橋付近）	15	639	654	2.3%
香芝市（どんづる峯）	53	32	85	62.4%
柏原市（河内堅上駅）	6	22	28	21.4%
合計（人）	90	789	879	10.2%



王寺町

三郷町



香芝市

柏原市

■調査実施状況



# 2市2町広域観光ルート整備事業推進支援業務 -平成29年度成果-

## 【平成29年度成果】

### プロモーション方策の検討・実施

#### 主要ルートの下見（ウォーキングモデルツアー）

NPO法人奈良県ウォーキング協会と連携し、主要ルートを試行的にウォーキングしながら、魅力や課題を確認。

- ＜ウォーキング協会からの意見（抜粋）＞
- ネーミングやPRの仕方が大事
  - 団体歩行、自由歩行など対象者を設定
  - マップに立ち寄りたくなる場所、トイレ、ルートの全長と距離数、曲がるころなどを表示すると良い
  - 昼食やトイレの場所をどうするか
  - QRコードなど情報を得られる工夫を
  - サインを整備するなら統一したものを 等



■ツアー実施状況

#### エリア紹介HPの管理・充実

エリア内の資源等を紹介するHPをアップ。



■アップしたHP

## 【次年度の展開の方向性】

＜広域観光ルートについて＞  
2市2町・地域住民・道路管理者等と連携した、ルートの整備、歩行環境の質的向上の推進

- ＜整備予定＞
- 王寺町：H30～32 遊歩道整備（明神山）
  - 三郷町：H30 林道整備（三室山）
  - 香芝市：H30 屯鶴峯整備



■整備イメージ

### 収益モデルの提案

まずは、ルートを知ってもらう、協賛団体を集めることからスタート。徐々に、観光客や協賛団体から協力を得られるシステムへ。



＜検討例＞  
マップに協賛団体を掲載し、広告料として協力をを受け取る。

今後の運営体制を検討。

- サーバー：各市町が分担金を出し、レンタルを継続
- HPの管理：2市2町が自ら更新

今後追加するコンテンツを検討。

- ＜追加コンテンツ例＞
- 整備ルート、観光資源マップ
  - イベント情報

＜KPIについて＞  
継続的な効果検証

＜プロモーションについて＞  
一般公募によるウォーキングイベントを実施

収益モデル構築に向けた展開を試行

HPコンテンツを充実

### 観光資源の発掘

エリアを訪れる人が「非日常」や「癒し」を感じ、ルート周辺をより楽しめるような資源として、「近代化遺産・インフラ資源」「特産品」「イベント・祭り」「温泉・銭湯」について整理。



■雪丸グッズ  
(王寺町)



■ケンコーミサトっ子  
(三郷町)



■地酒  
(香芝市)



■ワイン  
(柏原市)



■ウォーキングイベントの実施  
(奈良県ウォーキング協会HPより)

整備優先ルート・歌碑設置予定箇所・  
ルート整備予定箇所

信貴山 龍田古道コース

- 利用者レベル：中級
- 距離：約14.9km
- 所要時間（目安）：5～6時間

かりんとおびた  
龍の瀬・雁多尾畑コース

- 利用者レベル：初級
- 距離：約14.4km
- 所要時間（目安）：  
5時間半～6時間半

雪丸ロード・明神山コース

- 利用者レベル：中級
- 距離：約9.9km
- 所要時間（目安）：  
3時間半～4時間半

明神山・関屋縦走コース

- 利用者レベル：中級
- 距離：約9.0km
- 所要時間（目安）：  
4～5時間

近畿自然歩道・どんづる峯コース

- 利用者レベル：初級
- 距離：約14.4km
- 所要時間（目安）：  
3時間半～4時間半

○：歌碑設置予定箇所

○：ルート整備予定箇所

